

## 法人の理念

キリストの愛の精神に立って、福祉サービスを必要とするすべての人に仕え、日常を支援し、常に人びとの人権を護りその人格の尊厳を尊重します。

## 今月のねらい

- しいの実 秋の自然を楽しみ、室内や戸外で身体を動かす。
- たんぼぼ 秋の自然に触れ、戸外で身体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- みず 秋の自然に触れ、草花や木の実、生き物に親しみを持つ。
- かぜ 友だちや保育者と一緒に、簡単なルールのあるあそびを楽しむ。
- そら 自分の力を発揮しながら、友だちの姿にも刺激をもらい、みんなで一緒に取り組む充実感を味わう。

## 10月の行事

- 10日(木) 北野中学校 体育祭参加 AM9:45~  
<予備日16日>(かぜ・そら・たいよう組)
- 12日(土) 運動会《予備日19日(土)》  
(かぜ・そら・たいよう組)
- 23日(水) 避難訓練(消防署立ち合い)
- 25日(金) お誕生会
- 29日(火) 中京子ども大会(たいよう組)  
AM10:00~11:30頃

## 諸費請求お知らせ

25日(金)

エンペイ支払い期日  
25日(金)~28日(月)



2024年度



気持ち良い秋晴れの下、秋の深まりを感じる今日この頃。子どもたちは運動会に向けて伸び伸びと身体を動かしてごっこ遊びを楽しんでいます。また園外保育も予定していますので秋の自然に触れて過ごしていきたいと思ひます。

## お誕生日おめでとう



## 園外保育(お弁当いります)

- 22日(火) かぜ組
- 24日(木) そら・たいよう組
- 31日(木) そら・たいよう組



※日中暑い場合は、熱中症等の心配もあるので園外保育を短縮し、保育園でお弁当を食べる場合があります。

※お弁当は中身を冷ましてから蓋をしてください。水滴が食中毒の原因になります。

念のため、保冷剤も入れておいてください。

## 保育参加にお越しく下さい(幼児クラス)

保護者の方に見てもらっただけの参観とは違い、実際に集団の中に入り、わが子を含めた子どもたちと散歩やリズム運動、絵を描くなど同じあそびを楽しむことで、いつもと違った視点から子どもを見ることが出来ます。給食も展示された物を見てもらっていますが、実際に食べていただき、味や食感も味わってみてください。子どもたちも「きょうはだれかきてくれる？」と楽しみにしています。



円町まぶね隣保園  
京都市中京区西ノ京北円町50  
TEL (075) 462-8829  
携帯 (080) 4625-9085(緊急用)  
(080) 4625-9065

## 今月のみことば

「ひとりよりも ふたりが良い。」

コヘレト4章9節

「世界で一番貧しい大統領」と呼ばれた人がいます。南米ウルグアイの元大統領ホセ・ムヒカさんという人です。ムヒカさんは、大統領でありながら、大統領官邸には住まず、自宅で生活し昔から乗っている古い車を愛用していました。そのムヒカさんの言葉に「最も大きな貧困とは孤独です」というものがあります。「世界一貧しい大統領」と言われますが、ご自身は「貧しいわけではない、単に質素が好きだけ」と言うのです。ムヒカさんは「貧しい人というのは、コミュニティー(つながり)を持たない人であり、伴走してくれる人がいない人である」と言ひます。

IT関連の技術が発展し生活は便利になっていく一方で大切なものも失われています。その一つがこの「共に走る」「共に居てくれる」ということではないでしょうか。

コロナ禍以降、一層社会の孤立化が進み分断が顕著になってきた昨今、誰にも相談することができず苦しむ人が増えています。苦しい時にはスピードを落とし、立ち止まった時には一緒に止まり、そして同じスピードで伴走してくれる存在を人は求めています。

ひとりでも生きていける力をつけることを推奨し目指すことは一見素晴らしいように聞こえますが、助けが必要な時に助けてくれる存在がいることはどれほど勇気づけられることでしょうか。

誰かに悲しみを共有すると悲しみは半分になり、喜びを共有すると喜びは二倍になると聞いたことがあります。ひとりではなく、ふたりと多くの繋がりの中で生きていく私たちがでありたいと思ひます。そして私たちが持つ悲しみや痛み、喜びにも気づいて、いつも寄り添ってくれる神様がいることを覚えていたいと思ひます。

園長 沼津 孝治

## 苦情解決委員会

- 苦情解決責任者 沼津 孝治
- 苦情受付担当者 松尾 恵美
- 第三者委員 花岡 尚樹 畑 健次郎  
酒井 咲子